

## 2023年度

|                    |   |
|--------------------|---|
| 科目名称               | 補装具学  |
| 授業コード              | BG327   |
| 英語名称               |   |
| 学期                 | 2023年度前期  |
| 単位                 | 2.0   |
| 担当教員               | 豊田 輝 (医療科学部)  |
| 記入不要<br>ナンバリングコード  |   |
| 授業の概要              | リハビリテーションとは残存した機能を最大限に活用し、より人間らしい生活を獲得することである。残存した機能を補助するものの一つとして義肢・装具があり、古くからリハビリテーション手段として用いられてきている。そこで本講では、理学療法士として義肢・装具療法に精通し、臨床経験豊富な教員が解剖学・運動学などの基礎知識をもとに理学療法士として必要不可欠である義肢・装具療法の原理、目的および適応疾患について講義する。 |
| 科目に関連する実務経験と授業への活用 | 理学療法士を目指すうえで必要な装具学・義肢学の概要や個々の補装具類の名称や特徴、適応、チェックアウトについて、理学療法士として臨床・教育・研究において経験豊富な教員が講義する。  |
| 到達目標               | 本科目は、カリキュラム・ポリシーに掲げる「理学療法の実践を学ぶために、理学療法士として必要な実践的臨床能力と知識の統合を図り、理学療法的基础や評価法、治療学などの専門科目」であるため、理学療法士として必要不可欠である義肢・装具療法における基本的な知識を身につける。  |
| 計画・内容              | 担当教員：全コマ 豊田 輝（理学療法士）<br><br>1. 装具学概論、継手の種類と機能、KAFOのチェックアウト<br><br>2. 脳卒中片麻痺の装具  |
| 授業の進め方             | 指定教科書に沿いながら適宜、プリントを配布し、パワーポイントを使用した授業形式で講義を行う。また、技術の習得を伴う内容では、適宜、実習を行う。   |
| 能動的な学びの実施          | 実際に補装具類を手に取り学ぶ機会を設けるほか、装着体験や取り扱い体験を通じて理学療法士としての臨床応用に繋がる学修機会を設ける。その他、復習用のオンデマンド教材も積極的に活用することを推奨し、講義内容の理解を深める機会を提供する。   |
| 授業時間外の学修           | 教科書やプリントと関連付けて自分の講義ノートを整理すること。（合計 60 時間程度）  |
| 教科書・参考書            | 教科書：豊田 輝・石垣栄司編集、「義肢・装具学（第2版） 異常とその対応がわかる動画付き」、羊土社、2016年   |

## 2023年度

|                                    |  |
|------------------------------------|--|
| 成績評価方法と基準                          | 授業中の小テスト（30％）＋定期試験（70％）  |
| 課題等に対するフィードバック                     | 学生からの質問や小テストの結果をもとに、授業への反映や資料配布等を行う。   |
| オフィスアワー                            | Campus Squareを参照   |
| 留意事項                               | 授業には指定教科書を必ず持参すること（教科書内QRコードからの動画視聴あり）。  |
| 非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」 | <p>授業の進め方<br/>講義内容に応じて「zoomによるオンライン授業」あるいは「動画配信によるオンデマンド授業」とする。</p> <p>成績評価方法<br/>授業中課題50％と期末課題レポート50％で評価する。</p> |